

新潟大学大学院 現代社会文化研究科 人間形成文化論専攻
在籍番号 Z08G405B 藤田 美幸 (菅)

論文名:『ヘルスケアサービスにおけるインスタントイノベーションの実証研究 -モバイルによるクラウド型ヘルスケアサービスに着目して-』(要旨)

近年、超高齢化社会である日本や一部の先進国では、健康寿命の延伸をはかりヘルスプロモーション活動を促進し健康維持・増進することが課題となっている。その課題に対し、ICT を活用することでヘルスプロモーション活動を促進しているインスタントイノベーションの現象がみられる。

本研究では、ヘルスプロモーション活動におけるインスタントイノベーションの現象を明らかにした上で、インスタントイノベーションがヘルスプロモーション活動の促進に有用性をもつことを実証する。

第 1 章では、先行研究、政策や制度、政府の刊行物や報告書・資料等の文献を用いて、日本の医療領域における法律や制度、ICT化の変遷について概観した上で、論点を整理し課題を検討した。第 2 章では、本研究の主要概念であるヘルスプロモーションとフィットネスクラブについての解釈、特性について論じた。特に第 1 章で論じる日本の医療領域における ICT 化の変遷との関連性について論じ、ヘルスプロモーション活動の場であるフィットネスクラブについての意義について導出した。つづいて本研究の基礎的文脈のひとつであるフィットネスクラブについて分析をおこなった。第 3 章ではフィットネスクラブ産業の構造変化、第 4 章ではヘルスケアサービスの変化について議論した。フィットネスクラブ産業分析においては 2 つの産業構造分析フレームワークを用い新しい経営形態やサービスが存在し多様な構造になっていることを明らかにした。第 4 章では、フィットネスクラブにおいて提供されているヘルスケアサービスの変化について議論した。昨今、クラウド上や ICT を活用したヘルスケアサービスが実施されている。そのような現象はインスタントイノベーションであることを論じた。第 5 章では、本研究のもうひとつの基礎的文脈となるインスタントイノベーションの理論的解明を試みた後にフィットネスクラブとの関係性について論じた。ヘルスケアサービスは、外発的動機から内発的動機を駆動させ自発的行動を促すことで実施頻度が高まり継続意向がはたらくという特性があり、外発的動機のひとつに「共動性」がある。「共動性」とは、「独りではなく他者と共に動く、活動する」という概念とする。他者との共動によって内発的動機に正の相関を及ぼす。共動のひとつにモバイルの活用が考えられる。つまり、最初はモバイルによって駆動スイッチを入れるが、時間経過の下、モバイルがなくとも

無意識の中で自発的行動がみられ成果があがっていく。言い換えれば、インスタントイノベーションを発生させることでヘルスケアサービスを継続的に採用するという行動変容を起こす。以上のことを実証するため、第 6 章では実証的研究を行った。その結果、モバイルが自動化された共動性の機能を有していることが判明した。モバイルは、インテグラル型アーキテクチャにおける「すり合わせ」と同等であり、インスタントイノベーションを発生させることでヘルスケアサービスの効果を高めることを実証できインスタントイノベーションの有用性が示された。

本研究の発見物は以下の 5 点であった。1.ゲーミフィケーション要素の「共動性」を採り入れたヘルスケアサービスは実施頻度や継続意向のモチベーションに有効である。2.「共動性」の性質を採り入れたヘルスケアサービスは、実施頻度や継続意向のモチベーションに有効である。3.モバイル採用者の方が、未採用者と比較しヘルスケアサービスの採用が高い。4.モバイルは自動化された「共動性」の性質を持ちヘルスプロモーション活動を促進する。5.インスタントイノベーションを発生させることでヘルスプロモーション活動を促進する。

次に本研究のインプリケーションについて述べる。ウェアラブルやアプリなどで刺激を与え続け共動性を採り入れたクラウド上でのヘルスケアサービスは、時空間の障壁を破壊し多数の人々に行動変容というセルフイノベーションを誘発させ高い成果が得られる。これはインスタントイノベーションのひとつである。モバイルを活用し共動性の性質を有するヘルスケアサービスを実施することによってヘルスプロモーション活動が高まり、健康維持増進が可能となる。結果的に活力ある社会へとつながる。日本は超高齢化社会であり社会保障費増大などの負の連鎖を生み出しているが、視点を変えればヘルスケア分野のイノベーションを創出することで世界にさきがけ成長産業や新たな産業を育成する機会を有しているといえる。モバイルを活用することによってパーソナライゼーション化したサービスも提供可能である。Takayama が「モバイルは Industrial cradle になる」というようにインスタントイノベーションはまさに活力ある社会への重要なキーフクターである。